

kioku手芸館「たんす」と haru nomura

HA GI

TSU

GI

kioku手芸館「たんす」と  
haru nomuraのコラボレーションで新しいバッグが出来ました。

バッグの素材は、デニム生地のパッチワーク。kioku手芸館「たんす」に通う中田さんが、長年縫い合わせストックしていたものです。

中田さんの造形を生かし、できるだけハサミを入れずに haru nomuraがバッグに仕立てました。全て1点ものです。

DENIM

kioku手芸館  
「たんす」

8.18 Fri., 19 Sat., 20 Sun.

BAG

T-557-0001 大阪市西成区山王1丁目11-5 元・鈴木タンス店  
アクセス：地下鉄御堂筋線／堺筋線「動物園前」駅 [2]番出口より徒歩5分

# WORKSHOP

ワークショップ

「おしゃべりなかばん」

持ち寄った布を、おしゃべりしながら分け合って、生地をつなげてかばんをつくりましょう。布にまつわるエピソード、嬉しい記憶も悲しい記憶も、隣り合ったり重なりあったり。仕上がったかばんは、沢山の記憶を語りかけてくる。世界に一つの、おしゃべりなかばん。

日時 8月20日(日)

午前の部 10:00-13:00 \*9:50 受付開始

午後の部 14:30-17:30 \*14:20 受付開始

場所 kioku手芸館「たんす」

講師 野村 春花 (haru nomura主宰)

参加費 3,000円（お茶付）

定員 午前の部6名、午後の部6名

(要申し込み/先着順)

持ち物 古着や不要な布・切れ端など、裁縫セット  
\*「たんす」にある端布や裁縫道具もご使用いただけます。

お申し込み方法

参加日の前日までに、お名前・午前or午後の部・人数を明記のうえ、メールにてご連絡ください。  
E-mail : info@brk-collective.net

## DIALOGUE

中田久江さん × 野村 春花



野村 西成に住まれて何年くらいになりますか？

中田 もう長いですね70年くらい。中学卒業してからね、大阪へちょっと2、3日手伝いに来たのがね、もうずっと居座ってる。着替えも持たずに来てね、ずっと居座ってるんです。

野村 2~3日の予定が、70年！人生のほとんどですね。

中田 そうです。結構もね、田舎に結婚しようかって人がいてたんですねけどね。(大阪で)結婚して子供ができて田舎へ遊びに帰ったら、あんた僕などしてくれる?って言われたりしたんですけどね。

野村 すごいドラマ…！

中田 もうここで住んだら、やっぱりここがいいみたいですね。西成がね。

野村 この場所のどんなところが好きですか？

中田 やっぱり人と人が接触しても嫌味ないしね。みんな人の悪口言うわけだなしにね。人はみんな優しいですね。

野村 「たんす」っていう場所は、中田さんにとってどんな場所ですか？

中田 私にしたらね、ものすごい楽しいっていうんかな、来たらみんなと一緒にお話ししたりね、あれ(制作)するのがものすごく嬉しいですね。ここに来る水曜日っていうのが待ち遠しいです。

入院した時でもね、もう「たんす」行きたいからね、早く先生帰らせてくれって言ったら先生に笑われました。

野村 今回のかばんの話になるんですけど、デニムのパッチワークを継ぎたった時、生地が厚くて縫いにくくなかったですか？

中田 縫いくにかったです。針も本も折りましたけどね。

野村 針も何本も折って、でも嫌にならない？

中田 ミシンに油さしたりしながらね、やっぱりちゃんと(たんすのスタッフが)見てくれたりしたんでね、どうにかきました。

野村 パッチワークするときは、どんな気持ちで繋げてますか？

中田 いや、どんなっていうことないけど、これ何になるとやろうか~どんなになるんやろかとかね。で、カバンになるっておっしゃってたんで、いや、カバン！こんな小さいのがね、できるんかなとかね。そんな色々な。でも自分とこでもデニムの生地はみんな置いてます。置いて、繋いでいってます。

野村 カバンに仕上がった時、見てどんな印象でしたか？

中田 いやー感じえなーって言って。で、友達とね、「いや、あんなん真似したいけど真似できへん」「あんこじらえ、私舞いてあげるから」とか言うてね。昨日も言うてたところです。

びっくりしました、あんまり綺麗なんですね。みんなでんなあって言って。

野村 私も中田さんの継ぎたったパッチワークを見て、綺麗だと思いながらカバンに仕立てました。

裏地にカラフルな布が縫い付けてあったりとか。そういうのは工夫されたんですか？

中田 まあ自分なりにね、こんな風に裏に付けたらいやろうなとかね。やっぱりある程度自分で色々な布を縫うるうちにね、考えたりしましたね。ここ(たんす)でやっている間にね。

野村 このカバンは販売して、次の人の手に渡っていくのですが、使い手の方に何か一言メッセージありますか？

中田 やっぱりね、大事に使ってほしいなって、そう思っています。

kioku手芸館「たんす」  
tansu.brk-collective.net

haru nomura  
haruka-nomura.info



Instagram



Instagram